

# 大教会に集合！少年会総会

## 元 夏は家族でこどもおぢばがえり！



5月21日 少年会総会 3p 記事掲載



発行所  
天理教夕張大教会  
〒068-0029 北海道  
岩見沢市9条西6丁目21  
☎ 0126-22-1248  
FAX 0126-23-7275  
yubaridai146@gmail.com  
ホームページ  
bariten.main.jp

LINE 友達登録  
お願いします

### こどもおぢばがえり案内

夕張団では7月28日詰所に集合。29・30日おぢば行事に参加し、31日詰所解散です。

※往復とも飛行機便（引率あり）をご利用できます。

- ・朝のおつとめ・回廊ひのきしん・こども横丁・まなび教室
- ・バラエティー 186・アスレチック BOX・謎解き博物館
- ・リトマガ world・チャレンジ park・アチコチランド
- ・詰所プール などなど 参加予定。

詳細は大教会 HP、または団長まで。6月30日申込締切

**みなさんのご参加をお待ちしております！**



「子供の未来を守護り下さるおぢばがえり」

5月21日の少年会総会に、121名の方がご参加下さいまして、心より御礼申し上げます。多くの方々の真心の伏せ込みに親神様がお働き下さり、沢山の子供達に喜んで貰える一日をご守護頂けました。お力添えを賜りましたスタッフの皆様、教会の皆様、誠に有難うございました。

次は夏の「こどもおぢばがえり」の季節を迎えますが、夕張大教会は、夏に限らず、この一年に一人でも多くの少年会員を、おぢばでお待ち下さる、おやさまの御前へお連れしたいと存じます。おぢばに帰り、何か一つお子さんと共にひのきしんをして頂いて、その姿と心を、存命のおやさまに見て頂きたいと思えます。

私事ですが、6月5日より4日間、四国へ行って参りました。岩見沢でおたすけのご縁を頂いた信仰初代の男性が、6年ぶりに四国へ里帰りするのを手伝う為です。この男性も小学生の頃に、地元の大教会の方に誘われ、隣の家のお友達に誘われ、夏のおぢばに帰った事がありました。更には中学生の時にも、教会の引率のお手伝いに誘われて、おぢばがえりに参加していました。つまりひのきしんをしてきたのです。それから約10年が経ち、北海道へ進学、就職と進んだ彼は、ある時、身上と事情の両方が原因で、命の危機を迎えますが、その時、奇跡的に就職先の社長さんが、代々続く夕張の信仰者であったので、同じ会社の上司さんと共に、彼の行く末を想って、大教会に連れて来て下さいました。そこから修養科へ進んだ彼は、その後一進一退、何度もピンチが続きましたが、お世話させて頂くうちに、良い医療にも恵まれ、病は薄紙をはぐように、少しずつ回復へと向かっています。故郷の四国で彼を出迎えたご家族様は、「こんなに親切にして頂いて、お陰でこの子が生きていて、元気な顔が

**お知らせ**

**月次祭 7月15日(土) 9時30分開扉献饌**

**青年会夕張分会総会 7月9日9時受付開始**

**婦人会夕張支部総会 7月22日9時受付開始**

見れて本当に良かった。」と喜んで下さいました。おちばがえりとひのきしんは子供たちの未来に、親神様の先回りのご守護を頂ける、本当に有難い信仰の姿と存じます。

地元の教会の会長様にも、今回の事をご報告し、いづれ彼が四国へ帰ることが出来たら、そちらの教会へ繋がって貰えるように、今後はお世話をさせて頂きたいと思っております。

(※ひのきしんとは、日の寄進、即ち自分の一日を神様にお供えするという意味です。)

大教会長 藤田大和

五月月次祭の様様

例年よりも早く桜の時期が過ぎ、5月の北海道は青葉が生い茂って、少しずつ季節が前倒ししているような景色であった。さりとて朝晩の冷え込みは依然冬の名残を感じ、未だストープに頼る家も多かった事と思う。

月次祭前の連休には、一週間後に迫った少年会夕張団総会に向け、スタッフが大教会へ足を運び、綿密な準備が進められた。

迎えた月次祭当日、朝から雨模様のお天気であったが、温度は高めでした。定刻9時半より開扉献饌、祭儀式のち祭文奏上。その後、座

りづとめ・十二下りのてをどりが勤められた。

講話に先立ち辞令交付があり、新たに青年会の部属分会委員長に2名が任命され、所属の会長が大教会長より辞令を受け取った。

講話には藤田豊役員が立ち「一日昨日、教会の敷地内の整備を弟達と行っておりまして。その途中で枝に足を引っかけて派手に転び、あまりの痛さに『ああ、やってしまった』と思いました。長引くような怪我になってしまったかと思いましたが、よく見てみると大した怪我ではありませんでした。大騒ぎした上での事で、家族からは呆れられました。本当に痛みには弱いんです。きっと神様が『お前には大けがをさせては大変な事になる』と加減してくれているのではないかと思います(笑)。



藤田豊役員

この5月8日から、新型コロナウイルス感染症が第5類へと引き下げになり、季節性インフルエンザと同じ扱いになりました。少しずつ世間の動きも元のように戻っていくのでは、と思いますが、た

だ『元に戻ってよかった』ではなく、神様からのお手引きである、と思索しなければいけません。神様が、人間が陽気ぐらしをするために、何かを伝えて下さっている、という事なのだと思います。このコロナ禍において、全世界の人間が、少なからず同じような体験をしました。本部の先生も『教えの基本に立ち帰る』と仰っています。教内でも、コロナ前のような活動に少しずつ戻していくと思いがすが、そのまま元に戻すのでは、この経験の甲斐がありません。

コロナウイルス感染症は、呼吸器に症状が現れ、息が苦しくなるような病気です。十全の守護でいうと、かしくねのみこと様のお働きであると思いました。人間の身の内の息吹き分け、世界では風の守護の理と聞かせて頂いています。息は呼吸、吹き分けというものの内に言葉も含まれます。前よりも近くで言葉を掛け合えるようになった今、その言葉の使い方を正していくのが、自分の通り方だと思っております。一言の声掛け、気軽に声を掛ける事が私は苦手です。にをいがけも同じく苦手です。です、自分もよい声掛け、相手を笑顔にする、心を軽くする言葉を身に付けていきたいと考えています。

私が教会長になって、2年が経ちました。現在年祭活動に取り組んでいますが、まだまだ足りないと思うので、これから充実させていきたいと思っています。ある時弟に『兄ちゃん面白そうにしてないよ』と言われた事がありました。会長になってからを振り返ると、確かにそうだなと思いつた節がありました。喜んだ顔をせずになをいがけをしても、良いにをいを掛ける事は出来ませんよね。ですので、この3年間を楽しんで年祭活動を続けていきたいと感じています。

私が独身の頃は、教会の月次祭には女鳴物を用意していませんでした。つとめる方がいなかったのもありましたが、『用意もせずにつとめてくれる方が与わる訳がない』と思ひ、やる人がいなくなると準備をするようになりました。空席の女鳴物の方を見て、『何とかつとめる方が与わりますように』と神様をお願いをしながら、おつとめをした事が思い返されます。今月の月次祭では、私の奥さんと弟の奥さん、そして小学生の姪が女鳴物に付いて、とうとう三曲の手が揃いました。ゼロだった頃を思うと、これは本当に有難い事で、非常に嬉しく感じました。

女鳴物を準備する、というのは当たり前で、また手が揃う事も教会によっては当たり前なものです。しかしこの当たり前の前がどれほど有難い事か分かった今、私はもつともつと当たり前の事をしっかりとつとめ、当たり前の事をしっかりと喜んでいこう、と思ひました」と話した。また少年会団長として、一週間後に迫った少年会総会の告知・連絡、また今年このこどもおちばがえりのお誘いをして、話を締め括った。

大教会長はあいさつで「今年の4月より、夕張から久々に布教の家に入寮した方がいらつしやいます。祝梅分教会の後継者、高橋悟志さんが布教の家愛知寮に入寮し、一年間布教三昧の日々を過ごしています。既にガソリンスタンドの人と仲良くなつたりと、自然体で歩いてるんだな、と感心しました。私も負けないように、にをいがけをしていきたいなと思つてます。そんな悟志さんの近況を、毎月ひきよせにてお伝え致します。彼の頑張りに勇み心をもらつて下さい。

青年会本部のYoutubeチャンネルに千遍(せんべん)というチャンネルがあり、月曜から土曜、毎朝5分程度のお話が2020年の2月から配信されてきました。いろいろな青年会員のお話も5月6日について1千回目の配信がされ、終了となりました。最終回は青年会長中山大亮様がお話くださいま

した、聞いて頂きたいなど思いますが。また、来月6月16日前会長夫妻が金婚、結婚して50年を迎えます。月次祭の際にお祝いの紅白饅頭を用意してもらいたいと思っています。」と話された。

### 婦人会 委員長講習会

去る5月14日の例会日に合わせて委員長講習会を開催。32名が出席した。

おふでさき、論議第四号を拝読、支部長挨拶、本会会報より連絡に続いて講習会を始めた。まず各自持参した天理時報掲載の第105回総会での会長挨拶、真柱様のメッセージを全員で拝読させて頂き、親の思い、年祭に向けての歩み方など再確認させて頂いた。

昼食はお弁当にいろいろな飲み物。持ち寄りの漬物、スイーツで和気あいあいと。

午後は1時から神殿にてよろづよ八首をつとめ、ねりあいは「今の自分にとって貧に落ちきるとは？」をテーマにどう受け止め考えさせてもらうのが良いのか、などお互いが感じている思いを聞き合えて有意義な時間となった。

数年、例会に出られなかった委員長さんがねりあい中に楽しい



発言で皆を笑わせ拍手が湧いた。来月から例会に出ます、と笑顔で語られた。

三年千日、年祭活動期間のこの旬に自分が何か続けて進ませることができないかと思いを込めて進ませたい。

### ご夫婦で元気に帰参

6月1、2日におちばがえりされた山内さん(長沼分、左写真)は、アラウンド90歳のご夫婦。お二人だけで電車飛行機を乗り継ぎ、いきいきとおちばに帰られました。



### 詰所明るく省エネ

この5月、教養掛の助手をつとめて頂いた、継立分教会長・松尾澄夫氏(下写真左端)は、詰所の電気の省エネ化に、尽力して頂いた。

まず昨年末から、工具と機材を自前で持ち込み、息子さんたちと共に宿泊棟廊下の照明を、人感センサーライトに取り換えて、講堂の電灯をLEDに。次いで毎月、各宿泊室を1階から順にシーリングライトへと交換中です。皆さんが集まるロビーも、5月から丸いLEDラ



5月25日  
回廊拭きひのきしん

イトに。電気代の高騰の折、省エネで明るく変えて頂き、誠にご苦勞様でした。

5月の愛知は30度を超える日もあり、暑さに負けそうな日もありましたが、陽気ににをいがけ、おたすけに歩かせて頂いております。

慣れてきました。僕の最近のマイブームは、路傍講演で「二元の理」のお話をする事で、人通りの多い交差点などでほぼ毎日させてもらっています。路傍講演をする、

にをいがけとはまた別のスキルが求められるので、他の寮生や先生方と練り合いながら、コツコツと丹精させて頂いています。

5月の月間目標である訪問件数9000件、おさづけ取次150回も寮生6人一丸となり、無事達成することができ、寮の雰囲気も良く、順調に布教の家生活を送っております。

### 愛知 張志の 高橋 悟志の 布教日誌 vol.2



一日のモチベーションが上がります。勇んでにをいがけに出ることができ、野菜炒めのクオリティがどんどん上がってきています。

5月になると、にをいがけにもつ増え始めてきています。普段の



■五月晴れの5月21日、大教会にて第44回天理教少年会夕張団總會を開催した。久しぶりの対面での開催に、道内各地から少年会員51人、育成会員70人の計121人が集まった。

4年振りの集まっでの開催という事もあって、子ども達も少しモジモジと緊張気味。それでも、おつとめ衣を着けて中段に上がると、大人顔負けの凛々しい表情に変わり、3交代のおつとめまなびは、賑やかに元気いっぱい勤められた。

式典では、少年会長様のご告辞を、藤田大和・育成会長が代読、続いてお話をされた。その中で、かしもの・かりもの



## 4年ぶりに少年会員一手一つのおつとめ

やすくお話くださった。

昼食は、ママたち特製カレーとヨーグルトのセット。食堂やホールなど、思い思いの場所で食事をとりながら、会えなかった時間を埋めるように盛り上がりがあった。朝の緊張感は嘘のように、笑顔でカレーを頬張っていた。

午後からは、お楽しみ行事、大教会ウォークラリーが行われ、数



チームに分かれて、大教会の中を探検した。ヒントを元にチェックポイントを探したり、各所でミニゲームに興じたりして、スタンプを集めて回った。その後、ドキドキの抽選会が行われ、特賞のスプラトゥーン仕様の水鉄砲の登場に、場内は大興奮。当たった会員は、万雷の拍手の中、満面の笑みで景品を受け取っていた。

その後、動画と劇を組み合わせ、こどもおぢばがえりのお誘い



が行われた。最後に藤田豊団長が挨拶し、夏の行事のお誘いをして、皆で参拝してこの日の全てのプログラムは終了した。団長からお下がりのお菓子の詰め合わせをもらって、それぞれが楽しい思い出を胸に帰路についた。

### 庶務部 5月

▽本部食堂ひのきしん

幅田未由(清真布) 5・16〜31

▽初席

富山知理(栗山) 5・15

大橋寧々(由仁) 5・15

▽新任教会長の集い

梶川文吾(新生生) 5・27〜28

### 大教会日誌抄 5月

1日 たすけ推進会議

3日 会長、上富良野分巡教

4日 前会長、祝豊分巡教

5日 前会長、清真布分巡教

7日 会長、旭都分巡教、旭都前会長二十年祭

境内地整備ひのきしん(祝梅)

14日 祭典準備

15日 婦人会委員長講習会

16日 月次祭

19日 会長夫妻、北網分へ葬儀(17日)

21日 会長夫妻、札美分月次祭へ

23日 少年会おつとめ総会

24日 会長、おぢばへ

25日 会長、本部神殿当番

26日 前会長夫妻、おぢばへ

27日 本部月次祭

29日 遥拝式

30日 会長、かなめ会

31日 境内地整備ひのきしん

(長沼、大龍、清真布)

前会長夫妻、帰会

会長、帰会

会長就任奉告祭係員慰労会